



2026年5月14日

各位

会社名 株式会社アプリックス
代表者名 代表取締役社長 倉林 聡子
(コード：3727、東証グロース)
問合せ先 IR・コーポレート推進部部长 岩井 俊輔
(TEL. 050-3786-1715)

2026年12月期通期連結業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日付「2025年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」でお知らせしたとおり、当期（2026年12月期）の通期連結業績予想及び配当予想について開示を一時見合わせておりましたが、今般、2026年12月期通期連結業績予想数値及び配当予想数値の算定が可能となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2026年12月期通期連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上収益	事業利益
前連結会計年度 (A) (2025年12月期)	百万円 2,873	百万円 101
今回発表予想 (B)	9,083	53
増減額 (B-A)	6,209	△48
増減率 (%)	216.0	△47.8

(注) 当社は、2026年1月16日付適時開示「株式会社アプリックスと株式会社グローバルキャストの持株会社体制への移行を前提とした株式交換に関する最終合意に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、2026年4月1日付で株式会社グローバルキャスト（以下「グローバルキャスト」）を完全子会社化しており、本連結業績予想値については2026年12月期第2四半期以降においてグローバルキャストの業績が含まれております。

(2) 連結業績予想の公表の理由

当期2026年12月期の連結業績予想については、2026年2月13日付「2025年12月期決算短信〔IFRS〕（連結）」でお知らせしたとおり、2026年1月16日付適時開示「株式会社アプリックスと株式会社グローバルキャストの持株会社体制への移行を前提とした株式交換に関する最終合意に関するお知らせ」でお知らせした、2026年4月1日を効力発生日とするグローバルキャストとの株式交換の実施により、当期2026年12月期の連結売上収益及び連結事業利益の予想値を算出することが困難であったことから、非開示としておりました。今般PPA（パーチェス・プライス・アロケーション：M&Aによる取得原価を法律上の権利など譲渡可能な無形資産を分離して識別する会計手続）の仮算定が完了したことにより、顧客関連資産の計上額や顧客関連資産償却費等のPMI（ポスト・マージャー・インテグレーション：M&A後の被取得企業との統合プロセス）に要する費用を合理的に見積もることが可能となったこと等の理由により、公表するものであります。なお、PPAはあくまで仮算定であり確定値ではないため、今後の確定手続きの結果により、業績予想の数値が変動する可能性があります。

連結売上収益については、既存ビジネスである当社及びスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社（以下「SMC」）において、引き続きMVNE/MVNOサービスやシステム開発事業等の既存ビジネスの進捗が軟調に推移するとの保守的な想定のもと前期より減収となる2,769百万円を見込むことに加え、

ご注意：本リリースは、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。
本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。
よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

2026年4月1日の当期第2四半期より連結対象となるグローバルキャストについては、2026年4月30日付適時開示「子会社における新たな事業の開始に関するお知らせ」でお知らせしたとおり新事業として「ナーシングホーム事業」を開始することや、前期までに取り組んできたクライアントの多様化・業務領域の拡大によりクライアントからの発注数が増加傾向にあること等を踏まえ、当社連結後の2026年4月から12月までの9ヶ月間の売上を6,325百万円と見込んでおり、これらを合わせてIFRS連結調整後において9,083百万円を見込んでおります。

連結事業利益については、53百万円を見込んでおります。内訳としては、当社とSMCにおいて、過去のM&Aに際して発生した顧客関連資産償却費90百万円を控除した後の事業利益として15百万円を見込んでおります。グローバルキャストにおいては単体の営業利益を2026年4月から12月までの9ヶ月間において199百万円と見込んでおりますが、今回の株式交換に伴い発生する交換比率算定費用や弁護士費用等の取得関連費用、PPAに要する費用等57百万円、また仮算定に基づく顧客関連資産の償却費105百万円を加えた162百万円を差し引いた結果、当期の連結事業利益は53百万円を見込んでおります。

2. 配当予想について

(1) 2026年12月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	0円00銭	2円00銭	2円00銭
(ご参考) 前期実績 2025年12月期通期	0円00銭	3円50銭	3円50銭

(2) 配当予想公表の理由

当社は、収益力の向上に注力し利益を積み上げることにより配当を可能とする剰余金をさらに確保することで、中長期的な視点で当社株式を保有していただいている株主の皆様へ、配当性向の目安水準を30%とし、継続的な配当を実現できるようにしていく方針であります。

当期の配当予想につきましては、前項「1. 業績予想について」に記載した理由のとおり連結業績予想の算定が困難であったため公表を見合わせておりましたが、本日連結業績予想を公表したことに伴い公表することといたしました。当期は減益見込みであることから、上記の配当性向30%を適用した場合には1株当たり配当金額が大幅に低下する可能性を踏まえ慎重に検討を重ねた結果、株主の皆様への継続的な利益還元を重視する観点から、配当金支払総額を前期並み（前期の配当金支払総額：約76百万円）に維持するとともに、当社が配当可能な範囲において配当支払総額を設定し、当期の1株当たり年間配当金を2.0円（第2四半期末0円、期末2.0円）としております。

(注) 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上